

2023年(令和5年)

第47号

(4月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会  
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄  
 編集委員長：渉外広報 植田恭司  
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230  
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

## 今月のことば ～朝が大事～ 西京支部主任 杉山かおる

今月は、西京支部の杉山が担当させて頂きます。よろしく願いいたします。

昨年12月に主任のお役を頂戴するにあたり、母に相談しました。母は青年婦人部長、主任、支部長のお役を頂いた人です。普段は天然の入った面白い人ですが、的確なアドバイスがもらえるので、大事な場面にはいつも頼りにしています。

その母からもらった一言は、「謙虚にならせてもらいなさい」でした。謙虚…言葉としては理解していますが、実際謙虚になるってどういうことだろうとすごく考えてしまいました。

青年婦人部長の8年間を振り返ると、ご縁になるのは年下の方がほとんどで、みなさまが部長としての私を立てて下さっていることに感謝しつつ一生懸命引っ張っていかうと努力していましたが、謙虚とはほど遠い関わり方だったのではないかと思います。

お役がかわり、幹部さんの多い地区をお預かりして、目上の方とお会いしお話をさせて頂く中で、気付かせて頂いたことがあります。

まずは、信仰を通しての目標がどこにあるかをすぐに答えられないことです。

佼成会の活動は、結婚してから母への親孝行のつもりで月に1回の当番修行に出始めました。そこからは言っていたことを素直にする、お役を頂いて必要とされること、すべきことをするという、与えられた中ですべきこと・工夫改善は取り組んできましたが、

人のお役に立てる私でいたいというねがいは常にあるものの、明確な目標や目的を問われてもすぐに答えられない現状です。

仕事みたいに当たり前になりすぎて活動だけになってないか、他人や自分自身にも感謝を義務にしまったたりお仕着せになってないか、この機会に見直しつつ、目標を定めてみたいです。

また、普段から淡白な性格で、楽観的なものの見方をしがちなので、人さまの気持ちに寄り添うことが得意ではありません。ですが、学びを頂いて心がけると、少しずつ喜んでくださる人や場面が増えてきて、教えを頂いてるおかげさまだなと実感できます。こういう瞬間を友達や地域でご縁になる方と分かち合ってお互いの気づきにつなげていければ、謙虚な姿勢と言えるのかなと思いました。

今月の会長先生のご法話では、朝が大切だと教えて頂いています。今年に入って船に揺られてるような感覚の日がほぼ全部というぐらい自律神経が弱い私ですが、自律神経の弱い人ほど規則正しい生活を送ることが大切だと聞きます。

早起きできず、頭が働くまでかなり時間がかかる私ですが、会長先生みたいに4時起きは無理にしても、新年度から少し余裕を持って起き、感謝で気持ち良い一日を迎え、家族を元気に送り出せるよう、心がけていきたいと思います。ありがとうございました。

## あなたのお仕事を教えて下さい ～右京支部 中野恵造さん～

Q：仕事先はどちらですか。

A：京都機械工具(株) KTC。

日本一の工具メーカーです。

Q：どのような仕事内容ですか。

A：私の職場は機械加工専門で、ソケットレンチ用のソケットを造っています。普通旋盤と数値制御旋盤の技能検定2級の資格を持っています。

Q：仕事中に心掛けていることがあれば教えて下さい。

A：担当ラインの職場には、2人の後輩と契約社員のお姉さんとアルバイトくんと私の5人で、てんやわんやでやっています。もう1つのラインと2ライ

ンをまとめてくれている係長も良くできた人で尊敬しています。

勤続30年ともなると後輩育成と伝承が私の重大な役割だと思い、日々精進しています。

作業や技術の伝承はもちろんですが、傍を楽にすることや仕事に取り組む姿勢、生きざまがその後ろ姿ににじみ出るような…。そんなお手本のようなにはなれませんが、職場のみんなが毎日を機嫌良く過ごせたら、そんな人たちが造る製品を使う人は、きっと喜んでくれるに違いないと、そう信じて日々作業しています。

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/>